

「5大聖地」の古着店・女子向けラーメン店 地図に

町田の魅力再発見 ユニークHP好評

観光コンベンション協会が作製

町田市観光コンベンション協会が作る「市観光ガイド」のホームページ (<http://www.machida-guide.or.jp>) が人気を呼んでいる。街歩きの際の買い物や食事に使えるよう、市内の古着店やラーメン店の位置を紹介する地図を掲載。英文の観光情報もある。(村山恵二)



町田観光ツアーガイドスタッフの3人。(左から) 英文の観光情報紙を作っている伊藤さん、古着店地図を作った比企さん、ラーメン店地図を作った坂本さん＝町田市原町田4丁目

古着店の地図「まちだ古着巡りMAP」を作ったのは、同協会が運営する町田観光ツアーガイド「まちだ古着巡りMAP」(町田市原町田4丁目、ぼっぼ町田内) スタッフの比企小百合さん(31)。町田のイメージについて若い知人から「古着店が多い」と聞いた。町田が若者の間で原宿、代官山、下北沢、高円寺と並ぶ古着の「5大聖地」と呼ばれていると知り「古着店マップを作れば、これまでのガイドブックにないものができる」と考えた。ギャラリーでカウンター業務をこなし、空き時間に取材。4カ月前から、市内の古着店35店の住所や営業時間などをまとめた地図を作った。仲よくなった古着店から別の店を教えてもらい「1店も取りこぼしのないように努力した」。比企さんは「1日かけて各店をめぐってみたい」と話している。

女性スタッフ取材、英語情報紙も

は、同ギャラリースタッフの坂本愛さん(36)がスタッフの田中里砂さん(38)らと協力して作製。掲載されたラーメン店56店は①全国チェーン店でない②女性1人でも歓迎③サイドメニューやデザートが充実し雰囲気もいいという観点で選んだ。店の住所や電話番号、営業時間、駐車場の有無を紹介。味についても「豚骨スープなのにクリーミーであっさりしていて食べやすい」などとコメントを添えた。坂本さんは「忙しいラーメン店の営業のじゃまにならないよう、取材には気を遣ったが、市全域にわたる地図ができた。ギャラリーのスタッフ伊藤綾さん(24)は昨年夏から外国人向けに、イベントや見どころを英語で紹介した観光情報紙「マチダ・ツーリスト・タイムス」を作っている。ニュージーランドの高校、ハワイの大学を卒業した英語力を生かしての活動だ。薬師池公園や駅周辺の七福神像、芹ヶ谷公園のやぶさめなどを紹介。伊藤さんは「長く海外にいた自分にとっても町田を再発見する機会になっている。市国際交流センターなどと共同で作っていきたい」と話している。地図や情報紙に関する問い合わせは同ギャラリー(042・850・9311)へ。